

中 中学社会 地理的分野
(地理 704)
拡大版 [22P]
(全7分冊) ①

中学社会 地理 的分野

拡大版 [22P]
(全7分冊)



日本文教出版



194-1



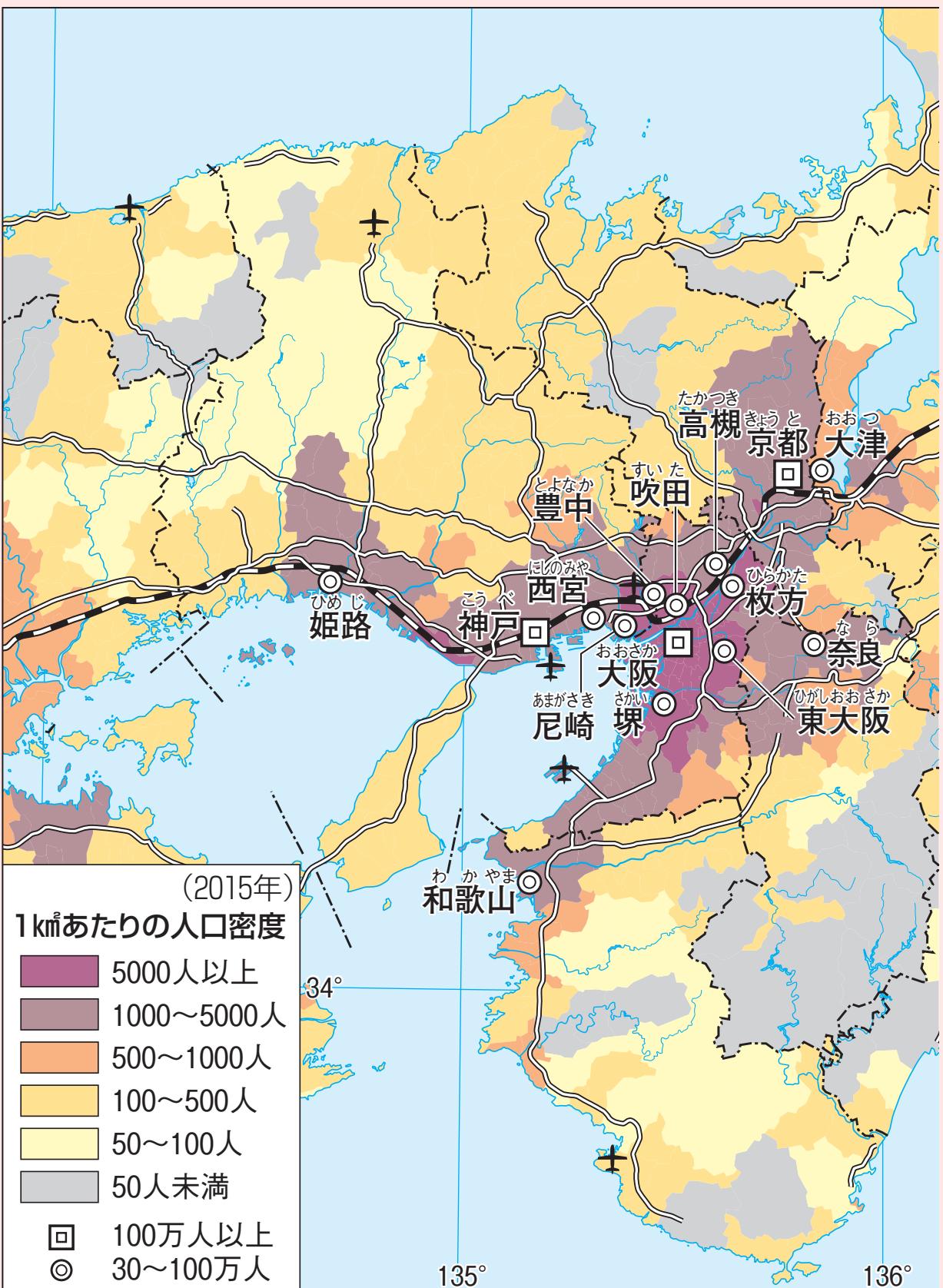
◀ 1 近畿地方の地形

資料活用

- 琵琶湖の位置や淀川水系の流れ方と、平野・盆地の分布を比べましょう。
- 琵琶湖の大きさを淡路島や大阪平野と比べましょう。

194-2

261



194-3



◀ ② 近畿地方の人口密度
(「国勢調査」2015年ほか)

194-4

263



近畿地方の自然環境や人々の生活には、どのような特色がみられるのでしょうか。



見方・考え方

人と自然とのかかわり

地形や気候、人口の分布、ちいき地域の歴史などに着目しましょう。

194-5

264

1

近畿地方の自然環境と人々のかかわり

中部の平地と南北の山地

近畿地方は、地形によって北部・中部・南部に分けられます①。中部には大阪平野が広がっています。大阪湾にそそぐ淀川や大和川の上流には、日本最大の湖の琵琶湖(→192-6ページ②)がある近江盆地や、京都盆地、奈良盆地があります。瀬戸内海には淡路島が浮かび、沿岸には播磨平野が広がっています。伊勢湾の沿岸には伊勢平野があります。

北部と南部には、山地が広がっています。

194-6

265

北部には丹波高地などのなだらかな山地が続いています。南部の紀伊半島には、紀ノ川(吉野川)から志摩半島にかけて、中央構造線という巨大な断層があり(→ 141-7 ページ)，その南にけわしい紀伊山地が広がっています。北部の若狭湾や南部の熊野灘沿岸には、リアス海岸(→ 280-1 ページ)がみられます。

三つの地域で 異なる気候

近畿地方の気候は、季節風と地形の影響によって、三つの地域に分けられます③。中部は、日本海、太平洋からはなれているため、降水量が少なく、内陸部では夏の

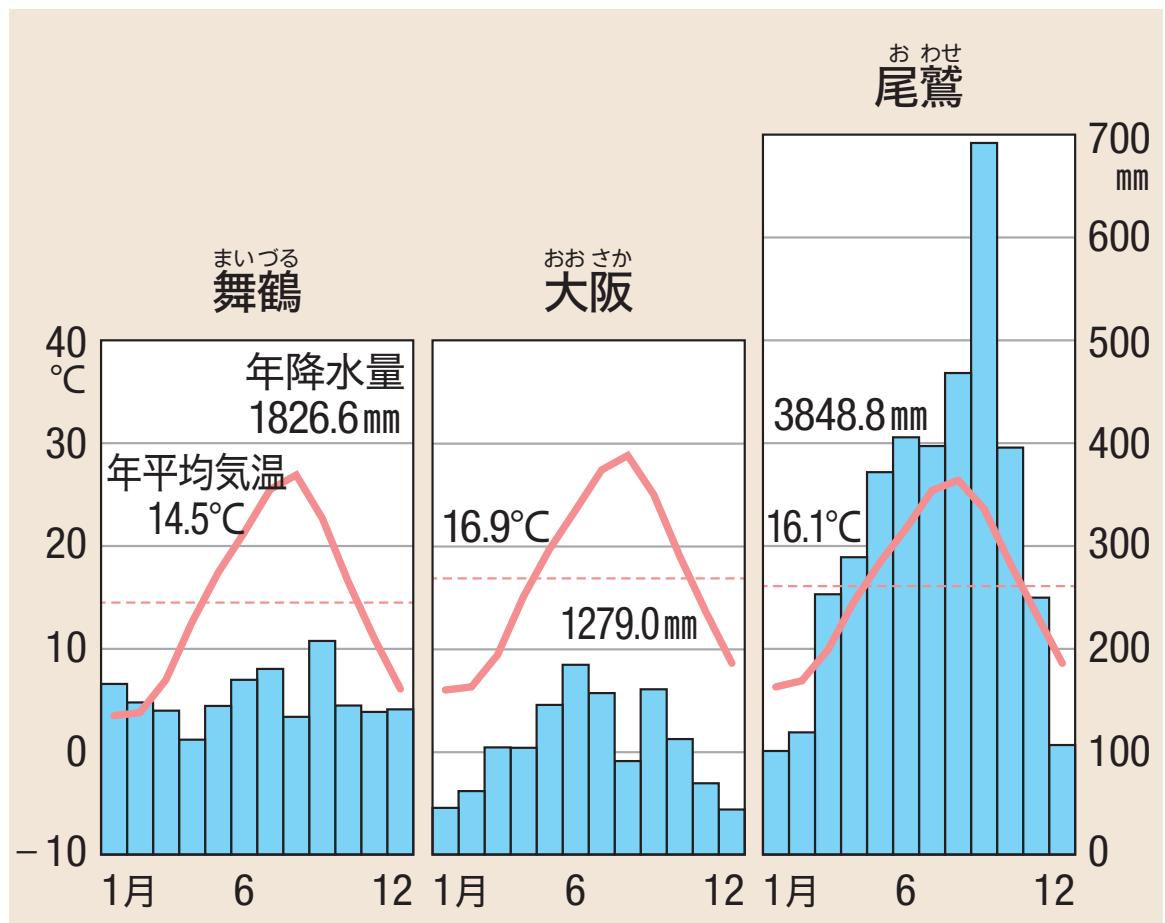
194-7 195-1

暑さと冬の冷え込みがきびしくなります。

北部は、冬に日本海からふく冷たく^{しめ}湿った季節風の影響で、雨や雪が多くなります。

南部は、^{おんだん}温暖で降水量が多くなります。これは、梅雨から秋にかけて、太平洋からふく湿った季節風や台風の影響を受けるためです。^{おわせ}尾鷲(三重県)の1年間の降水量は、

中部の大阪(大阪府)の約3倍に達するほどで、紀伊山地ではしばしば大きな風水害が発生しています。



▲③近畿地方各地の雨温図

(「理科年表」2019年ほか)

資料活用 143-3 ~ 143-4 ページの③を見て、近畿地方の気候区分を確認しましょう。

194-8



京阪神大都市圏の歴史をみる

近畿地方では、20世紀初めごろから、大阪・京都・神戸の**都心部**(\Rightarrow 282-3ページ)と**郊外**(\Rightarrow 282-3ページ)を結ぶ鉄道が次々とつくられました。鉄道を運行する**企業**は、都心部のターミナル駅④に百貨店を、郊外に住宅地や遊園地、野球場などをつくって、乗客を増やしていました。その結果、郊外の**衛星都市**(\Rightarrow 282-3ページ)にある住宅地で生活し、鉄道で時間をかけて通勤し、都心部の企業などで働くという生活スタイルが生まれました。この生活スタイルは、関東地方をはじめとする全国の都市部へ広がりました。また、大阪市と神戸市のあ

いだの阪神間とよばれる地域などには、
高級住宅地が広がるようになりました。

また、1950年代以降、人口の急増に
対応するために、郊外の各地で大規模な
住宅地やニュータウンの開発が進められ
ました。大阪府北部の千里ニュータウン
5、大阪府南部の泉北ニュータウン、
兵庫県南部の須磨ニュータウン、奈良
県北部の生駒市から奈良市西部にかけて
の住宅地などが有名です。これらの地域
では、開発当時に移り住んだ人々の高齢
化が進み、再開発や住宅の建てかえが行
われています。

→ **5** 日本初の本格的ニュータウンである
千里ニュータウン（2019年、大阪府豊中
市・吹田市）

195-4



↑ ④ 日本最大規模の私鉄のターミナル駅
(2019年、大阪市北区／阪急 大阪梅田駅)



195-5

271

自然環境と 人々の生活

三つの地域の地形と気候のちがいは、それぞれの地域の人々の生活にも影響しています。平野や盆地の多い中部は、早くから農業が営まれてきました。また、古くから都市が計画的につくられ、長いあいだ日本の政治・経済の中心地として発展してきました。現在では、日本で2番目に人口が集中する京阪神大都市圏が広がっていて、京都(京都府)、大阪市、神戸市(兵庫県)の三つの中心都市があります②。また、三重県北部には、中部地方の名古屋市(愛知県)と結びつきの強い都市がならんでいます。

195-6

山地が広がる北部や南部には、大都市はみられないものの、山がちな地形でも営みやすい農業や林業が人々の生活を支えてきました。南部の紀伊山地は温暖で雨にめぐまれ、果物の栽培（→ 193-6 ページ⑦）や林業が盛んです。また、北部・南部では、漁業も重要な産業になっています。一方で、山間部を中心に過疎化が進んでいます。

195-7

273

歴史的分野でも学習したように、近畿地方は日本の歴史の中心地だったね。現在は、どのようなところにその影響が残っているのかな。



追究するテーマ

近畿地方の古くからの歴史は、人々の生活にどのような影響をあたえているのでしょうか。



確認

近畿地方を北部・中部・南部に分けて、それぞれの地域の自然環境や人々の生活の特色をまとめましょう。

195-8



222-1

156

B5判 22P 地理

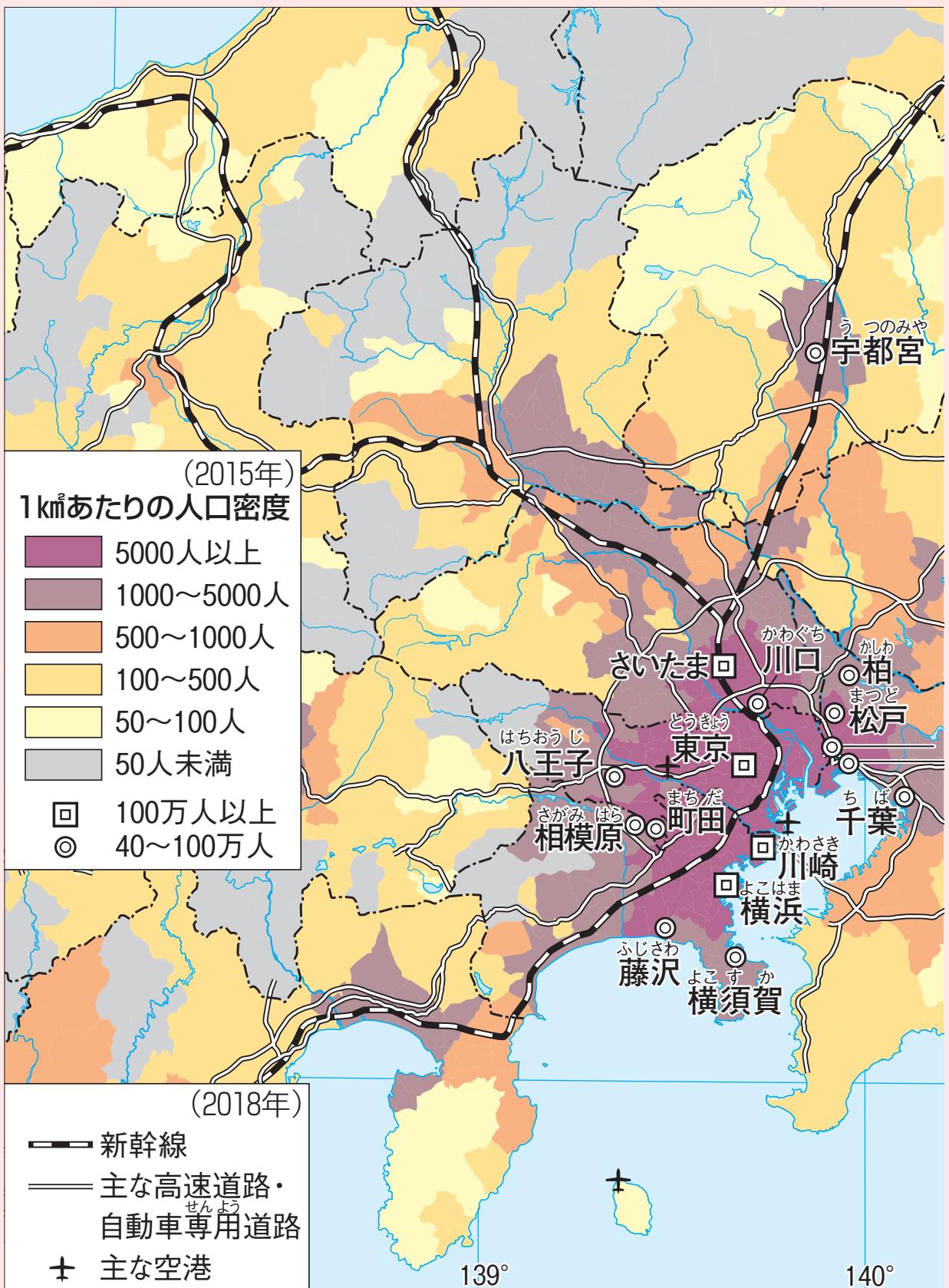
← 1 関東地方の地形



資料活用

- 194-1 ページ, 208-1 ページを見て、大阪平野、濃尾平野、関東平野の広さを比べましょう。
- 東京湾が直線的な海岸線になっている理由を考えて、説明しましょう。

222-2



222-3



◀ ② 関東地方の人口密度
(「国勢調査」2015年ほか)

222-4

159



関東地方の自然環境や人々の生活には、どのような特色がみられるのでしょうか。



見方・考え方

人と自然とのかかわり

地形や気候、人口の分布、土地利用などに着目しましょう。

222-5

①

かんとう 関東地方の自然環境と 人々のかかわり

低地と台地からなる 関東平野

関東地方は、7地方のなかで最もせまい地方ですが、日本最大の関東平野が広がっています①。その周辺には、西側に関東山地、北側に越後山脈などがあり、利根川や荒川などの大きな川が流れ出しています。関東平野の広い範囲から水を集める利根川は、日本で最も流域面積が広い川です。

関東平野のうち、海沿いの地域は、内陸部から川が運んできた土砂が堆積してつくられた低地です。少し内陸部に入ると、富

222-6

161

じさん あさまやま ふんしゅつ かざんばい
土山や浅間山などから噴出した火山灰が
つもってできた赤土(関東ローム)におお
われた台地が広がっています。

広い平野のある関東地方では、農業が盛
んです。水が得やすい低地には水田が、水
が得にくい台地には畠が広がっていますが、
南部を中心に広い範囲で都市化が進み、そ
の多くが市街地や工業用地になっています。

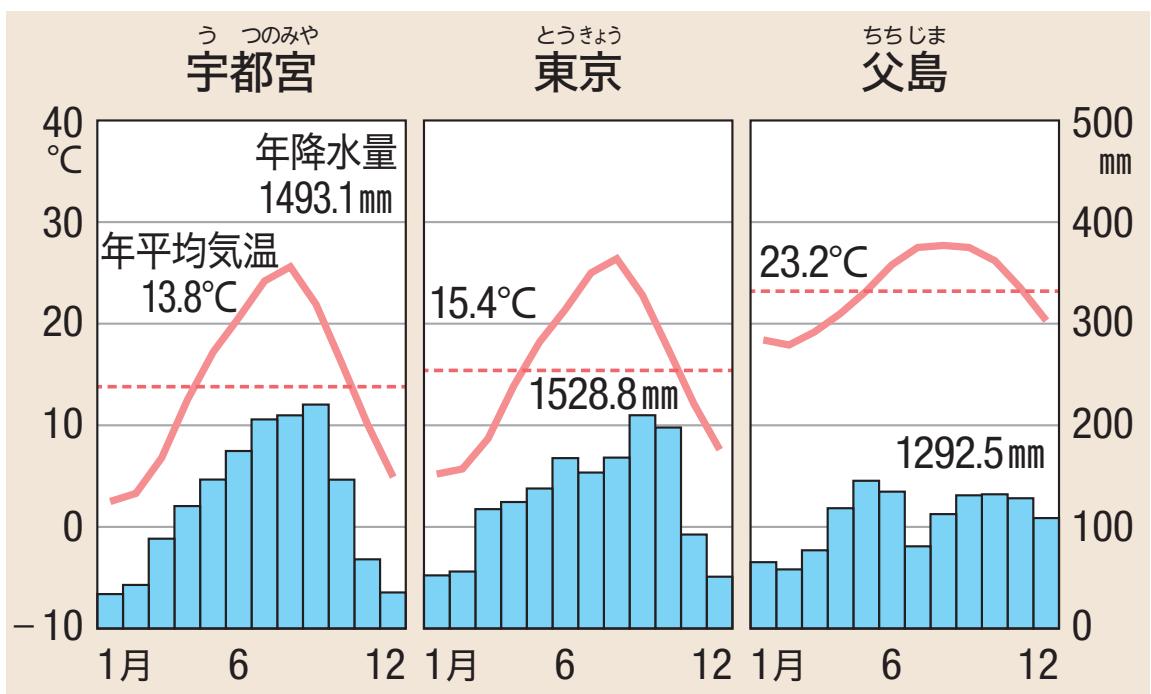
また、東京湾沿岸には、埋立地の直線的
な人工海岸が続いています。このように、
関東地方では、ほかの地方と比べて、人々
の活動が自然環境に大きな影響をあたえ
ています。

現在、関東地方には4000万人以上の人々
が住んでいます。東京23区(東京都)を中心

222-7 223-1

に、さいたま市(埼玉県)、千葉市(千葉県)、
横浜市(神奈川県)、川崎市(神奈川県)、
相模原市(神奈川県)といった政令指定都市
(⇒ 282-1 ページ) や、郊外の衛星都市がつ
らなる東京大都市圏が広がっています②
(⇒ 221-6 ページ⑧)。この地域は、日本で
最も人口が集中していて、日本の政治・経
済・文化の中心地になっています。また、
日本の首都である東京があることから、こ
の地域を「首都圏」ともよびます。

223-2

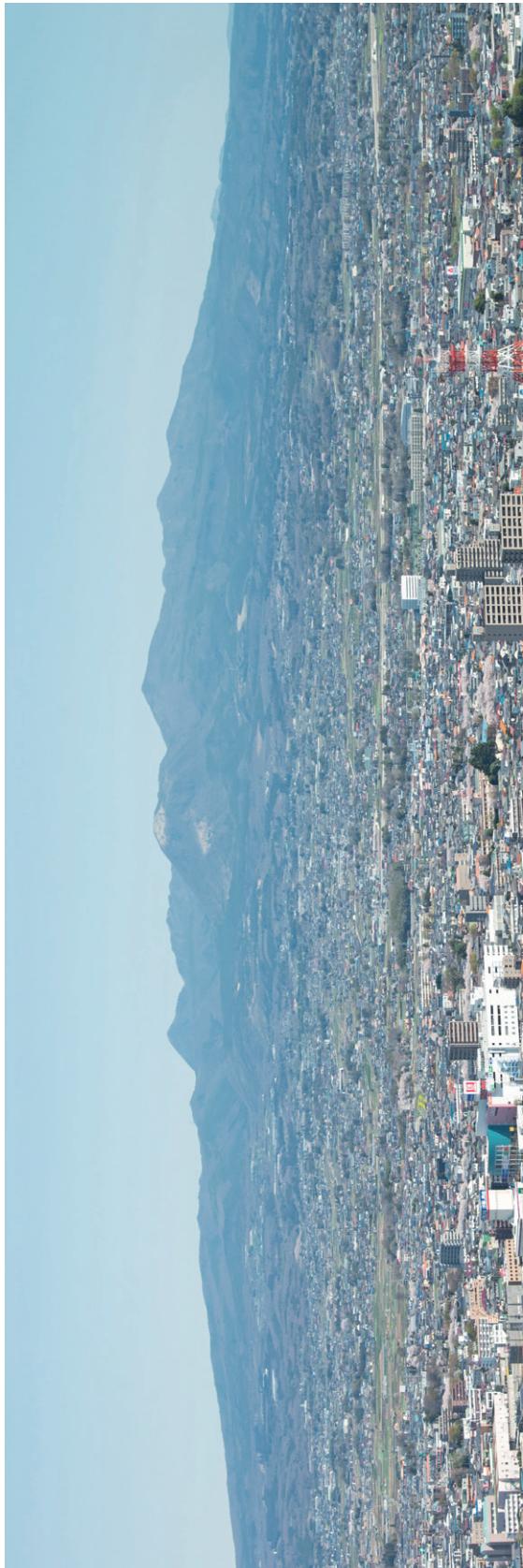


▲③関東地方各地の雨温図

(「理科年表」2019年ほか)

資料活用 143-3～143-4 ページの③を
見て、関東地方の気候区分を確認しましょ
う。

222-8



あかぎ
◀ 4 赤城山(2013年、群馬県前橋市)

群馬県では、冬の乾燥した北西からの季節風を、赤城山からふきおろす「赤城おろし」ともよびます。

223-3

165



東京都の島々

本州から南にのびる伊豆諸島や小笠原諸島は、東京都に含まれています⑤。1年じゅう温暖で豊かな自然にめぐまれているため③、観光業が盛んです。また、日本最南端の沖ノ鳥島や最東端の南鳥島も東京都の一部です。

小笠原諸島は、東京から船で約1日もかかりますが、世界自然遺産に登録されたため、観光客が急増しました。そこで、固有の動植物が影響を受けたり、外来種がもちこまれたりしないよう、エコツーリズムの取り組みを進め、環境保全と観光業の両立をはかっています。



↑ ⑤ 伊豆諸島・小笠原諸島の位置(左)
と小笠原諸島の父島(右: 2017年, 東
京都小笠原村)

223-5

167

乾燥した冬と 暑い夏

関東地方は、大部分が太平洋側の気候に含まれます③(→ 143-3 ~ 143-4 ページ③)。冬には、日本海側に雪を降らせた季節風が越後山脈などをこえて、乾燥した北西からの季節風(からつ風)になってふきつけるため④、晴れの日が続きます。夏には、湿度が高くなってむし暑くなり、山沿いを中心^{らい う}に雷雨^{たそがや}が発生しやすくなります。^{くまがや}熊谷(埼玉県)や館林^{たてばやし}(群馬県)などの内陸部では、非常に高い気温が観測されることがあります。また、南部の太平洋沿岸では、暖流^{りゅう}である日本海流^{くろしお}(黒潮)の影響で、冬で

223-6

も温暖な気候になっています(→ 221-3
ページ⑥)。

関東地方では、局地的な集中豪雨(ゲリラ豪雨)がしばしば発生します。また、東京・横浜などでは、都市の中心部の気温が郊外より高くなる、ヒートアイランド現象がみられます(→ 147-3 ページ)。

223-7

169

7地方のなかで最もせまいのに、
人口が最も集中しているんだね。
ほかの地方や外国にも影響をあ
たえているのではないかな。



追究するテーマ

関東地方の多くの人々の活発な活動は、
ほかの地方や外国と、どのようなつなが
りがあるのでしょうか。

223-8



確認

関東地方の人々の生活が自然環境に影響をあたえている例をぬき出して整理しましょう。

223-9

171